

生野区

ごみゼロ



リーダー

ニュース

第13号

平成30年2月発行

地域でごみ減量・3Rの取組をより推進

「ごみ減量市民交流会 in 大阪」開催される



天神祭の取組み事例に聞き入る参加者の皆さん（会場風景）

平成30年2月6日(火)午後1時30分から大阪産業大学梅田サテライトキャンパス（大阪市北区大阪駅前第3ビル）において、大阪ごみ減量推進会議主催の「ごみ減量市民交流会 in 大阪」が開催され、生野区北鶴橋連合推進員の荒木連合代表が参加しました。

交流会第1部の〔事例1〕では、兵庫県加東市から「加東市保健衛生推進委員の活動」についての発表があり、ごみ処理基本計画を実施するに際し、加東市では廃棄物処理法に

規定されている「廃棄物減量等推進員」制度がない代わりに「保健衛生推進員委員」を発足し、ごみの減量に取り組んでいることが報告されました。

セミナーの主催者を代表して、大阪ごみ減量推進会議の花田眞理子さんから「交流会で活発な討論や意見交換会ができるよう期待します」とあいさつされました。



分科会の様子（一部会場風景）

続いて〔事例2〕では、天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会から「初年度の実践～『南天満公園』エリアのエコステーション等実施」の報告があり、2016年の天神祭では60トン以上のごみが廃棄されていたが、2017年は2日間で延べ835人のボランティアにより、来場者に14ヶ所のエコステーションでごみの分別を呼びかけ、ごみの減量・再使用・再資源化が出来たことや、100万人以上が訪れる祭では日本

で初めてリユース食器の利用に取り組まましたと報告がありました。

その後の第2部交流会では、6分科会が開催され、各分科会報告・まとめが行なわれ市民交流会を終了しました。

21世紀のライフスタイルを買い物から考える

「ごみ減量市民リーダーセミナー」開催

平成30年1月17日(水)午後1時30分から、大阪産業大学梅田サテライトキャンパス(大阪市北区大阪駅前第3ビル)において、大阪ごみ減量推進会議主催「ごみ減量市民リーダー養成連続セミナー」第5回が開催され、生野区北鶴橋連合推進員の荒木連合代表が参加しました。



熱心に聞き入る参加者の皆さん (セミナー会場風景)

代表が参加しました。

講師にエコパーソナリティの下村委津子さんを迎え「地球にやさしいお買い物」と題し、環境を大切に考えた買い物がごみを減らすという取組について講義されました。

このセミナーでは「21世紀型のライフスタイルで資源を無駄にしない」という買い物から考えましょう」ということや、諸外国のリユースびんやレジ袋削減に向けた考え方、また2030アジェンダの中の目標12として「持続可能な消費と生産の確保」を掲げ、食品ロスの減少や廃棄物の大幅削減また市民目線で本当に良い企業を応援する「企業のエシカル通信簿」という形で消費者の買い物の選択をするなどの情報提供を行っていることが述べられました。

全5回のセミナーを終え、参加者からは「市民として何をしたらいいのか、具体的に学べるセミナーで、大変有意義な講義でした」と意見を頂きました。

概要

今回は全5回の連続セミナーの最終回。

日時：平成30年1月17日(水) 13時30分～

場所：大阪産業大学梅田サテライトキャンパス

(大阪駅前第3ビル19階)

講演：「地球にやさしいお買い物」

エコパーソナリティ 下村委津子

参加者：北鶴橋連合 廃棄物減量等推進員 荒木連合代表

エシカルとは！用語解説

地球環境や社会貢献、人権などに配慮したモノやサービスを積極的に消費することや、自然保護。省資源に役立てようとするエコ消費、健康で持続的な社会をめざす生活スタイル、企業取組のことなど。

《編集・発行》

大阪市東部環境事業センター

大阪市生野区巽中1-1-4

TEL:06-6751-5311 FAX:06-6753-3041

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

